

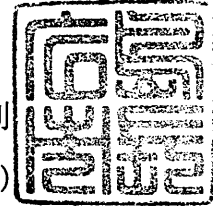
広人行第1号

平成13年1月9日

広島市監査委員 様

広島市長 秋葉 忠利

(企画総務局行政改革推進室)



平成11年度包括外部監査結果報告に添えて提出された「意見」に基づく
対応結果について（報告）

このことについて、別紙のとおり対応結果をとりまとめましたので報告します。

平成11年度包括外部監査の意見に対する対応結果

1 補助金の執行状況について【6件】

番号	主管局部課名	補助金の名称	意見の要旨	対応結果
1	企画総務局 情報システム課	広島市統計調査員 連合協議会補助金	補助制度設定当初は事業費の割合で補助されたものと推定されるが、以後定額補助となり現在に至っているものである。しかしながら、担当者は定期的に異動するため、制度が始まった趣旨、経緯などの事情がわからなくなり、その後の見直しが困難となる結果、前年度ベースで交付されているものと思われる。こうした事態を防ぐために、補助金制度が始まった趣旨、経緯などを明確にし、単価、数量の考え方を記録した文書を保存する必要がある。	補助金創設の趣旨や補助金額の考え方等を記録した文書を作成して保存し、今後の見直しをする際に活用することとした。
2	社会局 障害福祉課	広島市中心身障害者 就労促進事業費補助 金（運営費等）	共同作業所に対する事業補助のうち、建物等改装費補助については、予算計上時、金額の妥当性について業者からの見積書のみでなされているので、必ず複数業者から見積りを取る制度を採用する必要がある。	平成13年度の予算編成にあたって、作業所に複数の業者から見積書を取らせ、価格の妥当性について確認を行った。
3	経済局 農林水産部	水産まつり事業補助	定性的評価に加え、水産まつりの参加者数や、水産振興センターの入場者数など、定量的な数値での支出効果の把握もすべきである。また、事業実績の把握の際に、人的援助を含めて評価を行うべきである。	水産まつり事業に対する補助については、平成12年度から廃止した。
4	都市計画局 建築部住宅計画課	特定優良賃貸住宅 供給促進事業補助 (家賃補助)	入居率が下がっており、今後も継続して一層の周知に努め、入居率を向上させる必要がある。	平成12年度において、「市民と市政」の掲載回数及び新聞へのチラシの折込み回数を増やすとともに、新たに市広報番組を活用してPRを行った。 今後も引き続き種々の広報媒体を活用してPRを行い、より一層の周知に努め入居率の向上に努めていくことにした。

番号	主管局部課名	補助金の名称	意見の要旨	対応結果
5	道路交通局 道路部道路計画課	広島高速道路公社補助金	事業目的として、「技術的知識、有料道路事業に関する知識の習得など職員の資質向上を図ることを主たる目的として広島市から派遣された職員について、当該職員に係る人件費を確保するもの」とあるが、市へ帰任後の人事異動は長期的人材育成の観点から行われており、直ちにノウハウが生かせる部署に異動するわけではない。事業の目的を再検討する必要がある。	事業目的を「指定都市高速道路と密接な関係のある本市施行の一般道路事業の委託施行に従事する職員の人件費を補助する」という表現に改めた。 また、平成12年度以降の補助金交付申請書に添付される事業計画書に記載する事業の目的についても、同様の表現に改めるよう指導した。
6	市民局 国際平和推進部	(財)広島平和文化センター運営補助金	(財)広島平和文化センターは、備品を購入しこれを市に寄附し、その備品を再度市から貸付を受けているが、本来必要な備品であるなら、長期的な施設設備補修計画のもと、市が購入すべきである。	平成11年度から、(財)広島平和文化センターからの備品による寄附は取り止め、現金により寄附を受けることにした。また、平成12年度から、備品購入年次計画を基に、市が予算措置し、必要性の高い備品から購入することにした。

2 貸付金の執行状況について【2件】

番号	主管局部課名	貸付制度名称	意見の要旨	対応結果
7	市民局 人権啓発・同和対策部	住宅新築資金等貸付金 (住宅資金貸付金)	1 昭和61年度から抵当権設定の義務付けを図るよう貸付条件を変更しているが、抵当権が設定されていない以前の貸付金を滞納している借受人に対する抵当権設定交渉については、市の債権保全のためにも引き続き実施すべきである。 2 分納の約束を交わしている借受人等については、催告状を引き抜き発送を行っていない。人間関係に配慮した措置であると考えられるが、債権の迅速な回収のためには、納付書発送の添書に滞納金合計額を記載すること等により、借受人への定期的な滞納金合計額の通知が望まれる。	1 抵当権設定の交渉は、引き続き実施していくことにした。 2 平成12年4月に、分納約束をしている滞納者に対しては「滞納金額のお知らせ」を送付し、訪問徴収者に対しては訪問時に「滞納金額のお知らせ」を手渡し、今後は、定期的に通知することにした。
8	社会局 児童福祉課 (各区保健福祉課)	母子福祉資金貸付金 寡婦福祉資金貸付金	滞納整理の方法の一案として、違約金の免除規定の弾力的運用が図れる様な具体的な基準の設定について検討すべきである。	違約金減免の運用基準を平成12年10月に定め、滞納相談及び納付指導に努めることにした。

3 委託料の執行状況について【16件】

番号	主管局部課名	事業名	意見の要旨	対応結果
9	財政局 税務部	収納率向上対策事務	1 ステッカーの制作及び電車内広告（窓にシール貼り）の委託契約については、3回（同一業者、随意契約）に分けなくても、1回で契約（入札）できるものとする。 2 随意契約であるため、結果として過去から同じ業者と契約している。なれあいが発生する余地が生じ、より広告効果が高い予算執行が妨げられる可能性がある。競争原理を働かせ、契約額が低くなる可能性もあることから契約に係る事務手続量も考慮し、契約方法の見直しについて検討されたい。	平成13年度以降の委託契約について、契約回数を年1回に見直すとともに、随意契約を改め指名競争入札とすることにした。
10	経済局 農林水産部 安佐北区 農林建設部農林課 安芸区 農林建設部農林課	”ひろしまそだち” 特産化 育成事業	予定価格は、ここ数年見直されておらず、また、予定価格と見積書との一致は常態化している。予定価格を算出する際、実勢価格がどの程度であるか可能な限り把握するよう努力すべきである。	平成12年度以降の調査業務委託について、調査項目の削減などの業務内容の見直し等を行い、予定価格の適正化を図ることにした。
11	市民局 生活文化部	ひろしまオペラル ネッサンスの開催	ひろしまオペラル推進委員会で行っているオペラルネッサンス事業については、(財)広島市文化財団経由での事業である点で、相手の支出内容が目的に合致しているかどうか、適切であるかどうかについて確かめる必要がある。	委託事業の支出にあたっては、全体事業費を把握できる報告書の提出を求めるなど、支出内容の精査・把握を行い、適切な執行管理に努めていくことにした。

番号	主管局部課名	事業名	意見の要旨	対応結果
12	社会局 保険年金課	国民健康保険事務 オンラインシステム の開発	<p>既存システム（住民基本台帳システム及び市税システム等）を担当するシステム会社から見積書を入力し、これを基礎にして設計金額を積算している。</p> <p>また、単価及びプログラム難易度等の基準は企画総務局情報システム課の担当者により検証されているが、設計自体（プログラム本数等）の評価は不十分であった。</p> <p>設計金額の積算において、設計内容の妥当性に関しても考慮すべきであり、検討段階では複数のシステム会社から技術面、金額面での提案（見積入手）内容を聴取するなどして総合的に判断すべきである。</p>	<p>今後は、このようなことのないよう、次回以降のシステム開発においては、設計金額の積算時に関係課間で十分な協議を行うとともに、検討段階で複数のシステム会社から提案型による見積書を取り、技術面や金額面での提案を受け多角的・総合的な検討を行い、より適正な契約事務を行うことにした。</p>
13	企画総務局 総務課	区役所施設整備	<p>「安佐南区役所雨水排水管接続工事」は、予算要求時と工事施工時とで整備方法を変更したことにより、低執行（83.24%が不用）となっている。</p> <p>予算の概算見積もり段階においても十分な確認を行う必要がある。</p>	<p>今後は、このようなことのないよう、関係課間で工事の具体的な施行方法等について内部調整し、十分確認することにした。</p>
14	企画総務局 情報システム課	保険料の賦課及び 徴収事務（市税端 末借上等） （情報システム）	<p>安佐南区収納課への端末設置は平成9年度に前倒して設置されたため予算額が不用となっている。</p> <p>前年度前倒実施された事業予算に関して効率的な財政運用の観点から、財政課において配当の留保などの措置をすることが望まれる。</p>	<p>今後は、このようなことのないよう、当初不用が確定しているものについては、当初予算執行計画に反映させ、配当を留保するなど、適正な予算執行に努めることにした。</p>
15	社会局 障害福祉課	盲人ガイドヘルパー 派遣事業	<p>平成7年度から実施しておらず、不要な予算要求をすべきでない。</p> <p>（平成11年度から、研修内容を説明・質疑応答中心だったものから実技演習も交えたものに見直して研修再開）</p>	<p>平成12年度以降についても、毎年、研修内容の見直しを行いながら、引き続き研修を行っていくことにした。</p>
16	社会局 障害福祉課	視覚障害者あて文 書への点字シール 貼付事業	<p>広島市からの文書であることを明示するための点字シール（ヒロシマシと点字してあるシール）については、在庫数を考慮して予算要求をする必要がある。</p>	<p>平成13年度の予算編成にあたっては、在庫状況を考慮しながら、必要な枚数に応じたものにした。</p>

番号	主管局部課名	事業名	意見の要旨	対応結果
17	社会局 原爆被害対策部	被爆者援護促進	行政史（広島市原爆被害者援護行政史）の販売委託料（(財)広島平和文化センター分）については、過去の実績等を基礎にした見積方法の適正化を検討されたい。 (平成11年度において減額措置されている)	平成13年度の予算編成にあたっては、過去の実績に基づいて販売冊数を見込み、より適正なものにした。
18	都市整備局 西風新都整備部 調整課	負担事業宅地関連 業務	西部丘陵都市の負担事業宅地への除草業務の委託料については、除草面積及び単価が見込みを下回ったため、申請した予算の80.30%が不用となっており、過去の実績等を基礎にした見積方法の適正化を検討されたい。	平成13年度の予算編成にあたっては、①除草単価については、民間等の実績をもとに算定し、②除草面積については、現況を調査したうえ必要最小限の面積を見込むことにより、実態に即したのものにした。
19	道路交通局 道路部道路計画 課	道路公社償還金 (単債支払)	広島南道路に関連する用地先行取得業務については前倒しで実施したため予算額が不用となっている。前年度前倒し実施された事業予算に関して効率的な財政運用の観点から、財政課において配当の留保などの措置をすることが望まれる。	今後は、このようなことのないよう、当初不用が確定しているものについては、当初予算執行計画に反映させ、配当を留保するなど、適正な予算執行に努めることにした。
20	南区 市民部 まちづくり推進 課	子どもまつり	「南区民まつり」と包括的に実施されており、平成9年度から会場設営費（子どもまつりの委託料）が不用となっているため、事業予算の適時な見直しが望まれる。	子どもまつりの委託料は、平成12年度から予算措置しないことにした。
21	安佐南区 農林建設部維持 課	相田第八公園整備 (用地)	用地測量の委託料については、平成9年度に執行済みとなったのであるから、平成10年度の予算編成の修正を行うべきであった。	今後は、このようなことのないよう、予算の執行と編成のチェック体制を強化し、適正な予算編成を行うことにした。
22	安佐北区 農林建設部農林 課	民有林林道開設事 業（安佐町小河内 線）(単独)	測量及び実施設計業務の委託料については、平成9年度に執行済みとなったのであるから、平成10年度の予算編成の修正を行うべきであった。	今後は、このようなことのないよう、予算の執行と編成のチェック体制を強化し、適正な予算編成を行うことにした。
23	安佐北区 農林建設部維持 課	交安・広島三次線 (口田中学校入口) (単独)	道路照明灯新設業務の交差点改良分に係る委託料については、別事業（交通安全施設整備）予算で執行したため不用となっており、正確な予算執行手続きが望まれる。	今後は、このようなことのないよう、予算執行のチェック体制を強化し、事業誤りを防ぐことにした。
24	安芸区 農林建設部農林 課	県補、ため池整備 事業（単独）	ため池の改修工事に係る委託料については、平成9年度に執行済みとなったのであるから、平成10年度の予算編成の修正を行うべきであった。	今後は、このようなことのないよう、予算の執行と編成のチェック体制を強化し、適正な予算編成を行うことにした。